

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '工業振興方策検討事業' and '0402 商工業の振興'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about economic conditions and business support activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 6 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for '立地企業フォローアップ' and '市内に立地する企業'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with columns for 28年度, 29年度, 30年度, 31年度, 32年度, 期間限定総投入量. Includes sub-tables for '事業費' and '人件費'.

Table with columns for 29年度事業費実績 (千円) and 30年度事業費予算 (千円). Includes a '合計' row at the bottom.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 30年度の事業内容, 31年度の事業内容, 32年度の事業内容. Includes a list of activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	工業振興方策検討事業	事務事業No.	40201000413	所属課	地域開発課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
近年の経済状況から事業を縮小統合する企業が増えてきた。平成21年度から桜川市内に立地する企業へ働き掛け、市と地元企業との交流・意見交換の場として桜川市内立地企業懇談会が組織された。 県と協力して市内企業を訪問し、行政への意見・要望の聞き取りを行うフォローアップ事業を実施している。 新規の企業立地は厳しい状況にあるため、既存立地企業の撤退等の防止の観点から、当施策は引き続き重要である。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市内から企業が撤退すると、税収や市内の就業場所の確保の面から損失が大きいため、企業の誘致と合わせた既存企業の活性化事業は非常に重要である。 研修会等によると企業の誘致は、現在、飛び込み営業はほぼ可能性が無いため、既存企業のフォローアップによる地元との融和を進めることによって期待できるグループ会社等関連企業の誘致を重視することのこと。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	参加することに意義を感じられる充実した研修会を企画し、懇談会活動を活性化させる必要がある。 内容については再検討しないと続かなくなってしまうのでは、という懸念がある。 毎年、県の立地推進室担当者と共にフォローアップ事業を実施しているが、訪問社数や回数を増やすなども検討することも効果的である。 未会員企業への新会員加入については、桜川市工業会(商工観光課事務局)との一体化を図りたいため、今後、加入促進を募って行きたい。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市内企業の振興は、市の目的に結び付いている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内企業が活性化すれば、税収や市民の就業機会に良い影響を与えるため、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 立地企業懇談会へ参加していない企業への参加呼びかけなども視野に入れるなど、懇談会活動の更なる充実を図ることで、市内企業を多くサポートする体制を作ること検討したい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市内企業が活性化し、市と融和していくために、非常に有効な事業である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む))
(他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	
<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 桜川市工業会と連携し、新規会員の増加を図り、今後の活動を盛んにしていく。	
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 参加企業から、必要な会費をその都度徴収して活動しており、事業費が無い。 業務の性格上、委託等は不可。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 企業の撤退を防ぐことによる効果は、税収減や雇用の場を守ることにつながり、全市・全市民に益をもたらす。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・平成29年度は2社加入させることができ24社となった。また、市内の金融機関(金融団)を、立地企業懇談会へアドバイザーとして参加させる事ができ、企業と金融機関との新たな交流・業務連携ができるような土台が作れた。今後も参加企業を募っていくとともに参加する事に意義を感じられる充実した研修会を企画していく。																		
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
視察研修のための候補地を探すことが年々難しくなっているが、会員企業から研修継続に対する要望も強いいため、引き続き継続していく必要がある。		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>